

様式第2号（第5条関係）

平成 27 年 9 月 30 日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦 様

栗山町議会議員

千葉清己



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 平成 27 年 7 月 25 日 ~ 平成 27 年 7 月 27 日まで
- 2 旅 行 先 東京都
- 3 目 的 市民と議会の条例づくり交流会議 2015
- 4 関係書類 別紙のとおり



日 時	平成 27 年 7 月 25 日 26 27
視 察 先	東京都
調査事項	市民と議会の条例づくり交流会議 2015
参加 対応者	鶴川、藤本、大西、大井、佐藤、土井、千葉 7名
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	全国から議員66名市民42名計108名が東京の法政大学に集まった。中尾修氏がコメンテーター参加 内容は「議会改革の10年 これまでとこれから」 オープニング講演 馬渡剛 茨城大学准教授 「地方創生は地方議員の力量にかかっている」 増田レポートで自治体消滅リストが発表され、自治体の生き残り競争が始まりつつある。 その後、ワークショップに移り、3つのテーマで分科会が開催された。私は「良い議員って何だ」という分科会に参加したが、ここには40名の参加があった。 この中で、8グループに分かれ、各参加者からの意見発表があり、議員、市民それぞれから色々な意見が出されたが、栗山町議会是最も先進的な議会と思われているようで、身の引きしる思いがした。 翌日はワークショップ報告と問題提起があり、地方創生、地方議会の役割、今議員に求められている事について、青山彰久読売新聞編集委員から講演があった。参加した感想は、議会改革に終わりはなく、今後も常に議会と議員自らの検証を怠らない事が重要だと感じた。